

# からふる

平成26年8月 夏号  
発行：千歳市教育委員会

「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

## 学校では授業改善と学習規律の取組を進めています

千歳の子どもたちは、落ち着いて学習に取り組み、のびのびと学校生活を送っています。

子どもたちの学力の向上は大変重要な課題であり、各学校では授業の工夫や改善を行っています。特に、「電子黒板・実物投影機・ブルーレイレコーダー等」のICT機器を活用した授業では、大画面に映し出した教科書や図形、写真、動画などに、子どもたちはみんな顔をあげて興味をもって集中しています。

また、生活規律や学習規律を身につけることにより、「掃除をまじめに行う」「鉛筆を正しく持つ」「靴をきちんとそろえる」など、当たり前のことをしっかり行うことで、生活態度や学習姿勢がよくなります。

### 授業改善・・・

教職員は、毎日切磋琢磨して授業に役立つ研究を進めています。「考えさせる」「定着させる」を重視し、校内研修の充実やプリントづくり、電子教材の共有などに取り組んでいます。また、より分かりやすい授業のため、ICT機器を有効に活用しています。



必要なもの以外は机に出さない

### 学習規律・・・

教室が落ち着かない、騒がしいなどの状況であれば、集中して学ぶことはできません。学習規律を身につけることは、自己肯定感や学力を高めるためにも不可欠なものです。「聞く、書く、話す」などの基本的な学習態度を育むためのきまりを統一し、持ち物や学習の準備などを行うことで、集中力が高まります。



授業に集中する子どもたち



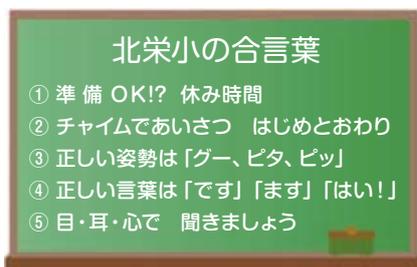
電子黒板を活用した授業



教員対象のICT機器活用研修

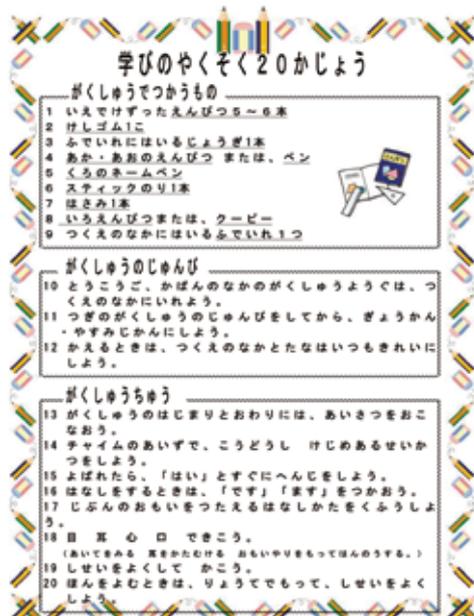
### ルールづくり・・・

学校では、生活規律や学習規律について、ルールを作成し子どもたちの約束事や合言葉にしています。下敷きにルールを差込み使用したり、大きく印刷して教室に掲示したり、学校全体で指導しています。このような取組が学力や生活習慣の向上につながります。



#### 北栄小の合言葉

- ① 準備 OK!? 休み時間
- ② チャイムであいさつ はじめと終わり
- ③ 正しい姿勢は「ゲー、ピタ、ピッ」
- ④ 正しい言葉は「です」「ます」「はい!」
- ⑤ 目・耳・心で 聞きましょう



緑小学校の低学年用ルール



# 学校給食における食物アレルギー対応マニュアルを作成しました

近年、児童生徒を取り巻く生活環境の変化などに伴い、食物アレルギーを持つ子どもたちが増加しています。これまで、学校給食における食物アレルギーの対応は、各学校がそれぞれのマニュアルにより対応していましたが、日常的な対応や食物アレルギー発症時の対応をより円滑に行うことができるよう、教育委員会では、市内小中学校の共通の「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」を作成しました。

## 学校給食における食物アレルギー対応の基本的な手順

学校給食は学校教育の一環として実施するものです。食物アレルギーを有する児童生徒に対しても、可能な限りきめ細やかに対応していくため、マニュアルでは次の4点に重点をおいています。



### 食物アレルギーのある児童生徒の把握

- ・家庭環境調査及び家庭訪問での確認
- ・学校生活管理指導表

### 校内体制の整備

- ・校内委員会の設置
- ・教職員間の情報共有
- ・連絡体制の整備

### 誤食事故の未然防止

- ・「給食だより」の成分表示により、食べられない食材の事前確認

### 症状が発生した時の対応

- ・状態の把握
- ・対応マニュアルによる応急措置

## 教職員の食物アレルギー講習会開催

食物アレルギーの発生時に教職員が速やかに対応するため、教職員を対象に食物アレルギーの基礎知識や発生時の対応、エピペンの使い方などの講習会を8月1日、5日に開催しました。



エピペンの練習の様子

学校給食センターでは、施設の構造上アレルギー除去食の提供はできませんが、牛乳に代えてお茶の提供や卵・乳を使用しないパンの提供などを行っています。「給食だより」には、食材やアレルギー表示義務7品目を記載していますので、毎日の献立を確認し、子どもが誤食しないよう十分な注意をお願いします。

## ～保護者の皆さまへのお願い～

食物アレルギーの症状は、じんましんのような軽い症状から、時には生命に関わるような重い症状にいたる場合があります。

子どもたちが安全・安心に学校生活を送るためには、家庭と学校が一体となって、事前に対策を立てておくことがとても重要です。

誤食事故を未然に防止し、万一の緊急時に適切な対応を図るため、次のとおりご協力をお願いします。

## ～子どもに食物アレルギーがある場合～

医療機関で受診し、医師の診断による「学校生活管理指導表」（医師が記入します）を学校に提出してください。

※アレルギーの症状などを必ず学校にお知らせください。

※病院受診の際にかかる受診料と指導表作成の費用は自己負担となりますので、ご理解とご協力をお願いします。



## 「ちとせっ子読書プラン」がスタートしました!



### 千歳市子どもの読書活動推進計画（第2次）（2014～2020）

子どもたちが自ら本を選び、自らの力で本を読み、本の楽しさを知り、多様な感情をいただき、豊かな心を育むきっかけづくりができるような読書環境の充実を図るため、千歳市では「千歳市子どもの読書活動推進計画（第2次）」を策定しました。この計画では「子どもたちが、あらゆる機会と場所において自主的な読書活動ができるよう、読書環境の充実を図ること」を基本的な目標としています。

第2次計画では国や北海道の計画改定をもとに、目標数値を設けるなどの新たな工夫を行い、子どもたちが読書に親しみ、読書を楽しむことができる環境の充実を目指しています。

また、計画のサブタイトルは、子どもたちの豊かな読書活動はぐくむという期待をこめて「ちとせっ子読書プラン」としまし

●学校では、保護者や地域、市立図書館と連携し、学校図書館の充実に取り組んでいます。

●教育委員会では、学校図書館司書の配置や図書ボランティア講座を開催するなど、子どもたちの読書活動を支援しています。



# 学校の特色ある取組を紹介します!

## 千歳第二小学校

### 千歳川水質検査 ～千歳の自然を守る子どもたち～

千歳第二小学校では、5年生の総合的な学習の時間に、千歳川について学習します。毎年、地域を流れる千歳川を知るために、実際に水質調査（パックテストやペットボトルを使った透視度調査など）を行います。

7月の宿泊学習では、石狩川でパックテストを使った水質調査や川の生物の観察の仕方を学習し、8月の見学体験学習で、学習したことを生かして、千歳川の水質調査（中～上流3ヶ所）を行います。調査結果をもとに、千歳川についての理解を深め、清流・千歳川のそばに住むことへの喜びや関心を深めています。



水質検査の様子

## 向陽台小学校

### 本が大好き向陽っ子! ～地域と学校で取り組む読書の工夫～

向陽台小学校は、図書室を「本の森」と呼び、地域開放等も行っています。またボランティア団体の「森ック」の方々を読み聞かせを行っています。4月の「読書の日」には、泉沢の「すみれ文庫」や江別の「三小お話し会」の皆さんにもご協力いただいて、読書のイベントを実施しました。

ここ数年の読書に関わる取組として、秋の読書週間では全校児童で「本の帯作り」や学年対抗「本の冊数すごろく」～低学年は向陽台地区の公園・高学年はお城～を行うなど、教職員がモデルとなり、子供たちは楽しそうに取り組んでいました。

昨年に引き続き、今年も図書館司書の方が配置されるので、ますます本が大好きになりそうな向陽っ子たちです。



地域の団体の読み聞かせ



学年対抗「本の冊数すごろく」

## 千歳中学校

### 千中生のハートフルメッセージ ～全校で取り組む「いじめゼロ宣言」～

千歳中学校では、勉強や部活を頑張るだけではなく、相手のことをしっかりと思いやり、困ったときでも互いに支え合える仲間でありたい、そして「いじめ」のないみんなが安心して過ごせる学校にしようという思いから、いじめゼロ「千中生のハートフルメッセージ」という、全校生徒一人ひとりが宣言し、貼り出すことによって思いを一つにするという取組を行っています。

この取組を通して、千歳中学校が、今もこれからもいじめのない、相手を思いやることのできる素晴らしい学校であり続けるように、全校生徒一丸となって行動しています。



千中生ハートフルメッセージ

## 要注意! インターネットの使いすぎ

道教委が今年実施した「中学生・高校生のインターネット利用実績調査」では、高校生の74.5%、中学生の56%が「ほぼ毎日」インターネットを利用しており、その時間が「2時間以上」の生徒の割合は、中高全体の53.9%にのぼっています。また、**高校生28.7%、中学校16.6%が「自分はネット依存だ」と回答**がありました。

携帯電話、パソコン、タブレット端末などの情報通信機器について、高校生の95.6%、中学生の77.0%が自分専用の機器を所有しており、そのうち、高校生90.7%、中学生33.6%が「スマートフォン」を所有しています。このようにインターネットを使いすぎている傾向があり、**ネットを利用するため、犠牲にしている時間は、高校生、中学校ともに「勉強時間」が一番多く、次に「睡眠時間」、「家族と話す時間」となっています。**

インターネットでのトラブルや生活への影響から子どもを守るためには、「情報モラルを身につけること」、「望ましい生活習慣の確立」が必要です。

# とびっくす



## ALTによる「Summer Class」が開講!

中学校で新たにALT(外国人英語指導助手)による英語の補充学習が始まり、初回の「Summer Class」を7月25日に勇舞中学校で実施しました。5人のALTが展開する学習の中で、生徒は楽しみながら英会話を学びました。冬休みには、参加する中学校を拡大し実施する予定です。



ALTによる英語学習の様子

## 「いじめ相談ボックス」を設置しました!

「千歳市いじめ防止基本方針」に基づき、市内の小中学校全校に「いじめ相談ボックス」を配置しました。

先生や親、友達に相談できない、アンケート調査に記入できないなど、誰にも言えずに困っている児童生徒が気軽に相談できるように設置したものです。今後も、いじめの未然防止、早期発見に取り組みます。



## 学生ボランティアによる「学習サポート事業」の実施!!

今年で3年目となる「学習サポート事業」を小中学校の夏休みに実施しました。

千歳科学技術大学の学生ボランティアが、小中学校の長期休業中に児童生徒の補充学習を支援するもので、きめ細かい指導により個々のつまずきの解消や学習意欲の向上、学習習慣の形成など、基礎学力の向上を目指します。

- 千歳市教育委員会実施(千歳科学技術大学) 北栄小、末広小、緑小、千歳第二小、日の出小、信濃小、高台小、祝梅小、桜木小、向陽台小、泉沢小、青葉中、北斗中、勇舞中
- 北海道教育委員会実施(道内大学) 千歳中



大学生による学習サポートの様子



## 岩手県から千歳市へ 人事交流の末広小 南館先生です!

4月から、北海道・東北3県教員人事交流として、岩手県雫石町立安庭小学校から南館先生が末広小学校に赴任しています。

南館先生に千歳の印象をうかがうと、「千歳市は、自然が多く子育てしやすいまちですね。上空を様々な飛行機が飛び交う光景はとても新鮮です。末広小の子どもたちは、とても素直で人懐こくて、廊下を歩いていると、明るくて元気なあいさつを進んですることができます。とても気持ちがいいです。好奇心旺盛で活発な子どもたちと、2年間という短い時間ですが、充実した時間を過ごしていきたいと思います。」と、元気いっぱいに語ってくれました。



末広小学校の南館先生

## 千歳小学校 わたしたちの単P活動 新コーナー

千歳小学校PTA活動のメインは「ふれあい祭り」(バザー)です。保護者・教職員総勢100名近いスタッフで、焼き鳥、焼きそば、かき氷、縁日、ゲームなどを出店します。収益金は、児童の教育活動や東日本大震災復興英基金、サンドレイク小学校との交流基金にあてています。昨年度、役員や委員の負担減や、全ての保護者がPTA活動に関わるために、PTA活動の見直しを行い、役員数減や一人一役の活動を取り入れました。主な行事は、学年学級レクの開催、研修旅行、ミニバレー大会、広報誌「清流」の発行等です。保護者の皆さんはPTA活動に熱心で協力して取り組んでいます。



ふれあい祭りの様子

## 学校を支える人たち

特別支援教育支援員は、友達の気持ちを理解したり、感情のコントロールが苦手だったり、読み書きや計算が苦手であるなど、生活面や学習面での困り感がある児童生徒に対し、食事や身支度、教室の移動や学習の支援、安全の確保などの活動を教職員と連携して行っています。

千歳市では、こうした児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、支援員を小学校13校と中学校5校に39名配置しています。



## 特別支援教育支援員



編集・発行 千歳市教育委員会(教育委員会庁舎2階 教育部 企画総務課)

■住所: 〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地

■電話: 24-0819(直通)

■FAX: 27-3743

■e-mail: kyoikukikaku@city.chitose.hokkaido.jp

■URL: <http://www.city.chitose.hokkaido.jp/>